

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院消化器外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身かご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

1996年5月から2020年2月の期間、虎の門病院で、食道術後拳上胃管癌の診断を受け、外科的切除ないし内視鏡的切除を受けた方

【研究課題名】

拳上胃管癌の臨床病理因子および切除後アウトカムの後方視的解析

【研究の目的・背景】

食道癌は難治癌のひとつとされていますが、近年は集学的治療の発展の恩恵を受けて、特に外科的切除後の長期成績には改善が認められています。その結果、食道術後再建に用いられる胃管に発生する癌(拳上胃管癌)の報告も増加しています。

拳上胃管は早期に発見されれば、低侵襲な内視鏡治療で治癒をのぞめますが、そうでない場合は、侵襲の大きい外科手術が必要となり、その治療成績は不良と報告されています。ただし拳上胃管癌の外科的切除例は、報告例そのものが依然少なく、その治療戦略におけるコンセンサスが得られていないのが現状です。

本研究では、食道術後拳上胃管癌の外科的切除例の臨床病理因子および短期・長期予後を、内視鏡的切除症例との比較において後方視的に解析し、その特徴、さらに予後因子を明らかにすることを目標としています。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2020年5月28日～2021年3月31日

【単独／共同研究の別】

単独施設研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院 消化器外科 上野正紀 のもと研究終了から10年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定で

きない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

診療情報を虎の門病院外へ提供することはありません。

【利用する診療情報】

診断名、年齢、性別、腫瘍深達度、リンパ節転移、臨床病期、術後病理組織学的所見、術後合併症、治療経過、術後経過など

【研究責任者】

虎の門病院 消化器外科

住所：105-8470 東京都港区虎ノ門2-2-2

研究責任者：上野 正紀

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族が診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族が、診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2021年1月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様へ不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 消化器外科 浦辺雅之

電話 03-3588-1111(代表)